アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ

No.65／ 2012 年 5 月

「アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ」第65号をお届けします.

【1】2012年度アンテナ・伝播研究専門委員会の体制

電子情報通信学会は，5月に開催される平成24年定時社員総会をもって新年度の体制に移行します．これに伴い，アンテナ・伝播研究専門委員会も新体制に替わります.

委員長	宇野 亨	（東京農工大学）
副委員長	菊間 信良	（名古屋工業大学）
幹事	石井 望	（新潟大学）
幹事	高橋 徹	（三菱電機）
幹事補佐	道下 尚文	（防衛大学校）

研究専門委員会の新体制への移行により，AP研各種委員会の体制も以下のように替わります.

WS常設委員会	委員長:	宮下 裕章	（三菱電機）
	幹事:	高橋 応明	（千葉大学）
論文委員会	委員長:	岩井 誠人	（同志社大学）
	幹事:	広川 二郎	（東京工業大学）
出版委員会	委員長:	庄木 裕樹	（東芝）
	幹事:	今井 哲朗	（NTTドコモ）
アンテナの歴史委員会	委員長:	牧野 滋	（金沢工業大学）
	幹事:	小西 善彦	（三菱電機）
	幹事:	有馬 卓司	（東京農工大学）
表彰委員会	委員長:	正源 和義	（放送衛星システム）
	幹事:	山口 良	（ソフトバンクモバイル）

新しい体制での2012年度上期研究専門委員会は，6月14日（木）に機械振興会館で開催されます.

【2】データでみるAP研Tips 「第一種研究会はいつ申込まれているのか」

AP研第一種研究会は，通常，開催2か月前の10日が申込み締切となっております．さて，皆さんは第一種研究会に投稿する際に，いつ申込みされているでしょうか？　実は，このことはAP研幹事にとって，とても重要な意味を持っています．第一種研究会の会場は，ある程度の発表件数を前もって予測し前年度に確保します．場合によっては，事前に会場費を前払いすることもあります．申込みが少ないと会場キャンセル，多すぎると会場追加・発表者の日程調整など，多大な稼働が掛かるため正確な票読み(最終申込数予測)が必要です．そこで，近年AP研幹事団ではこの票読み精度向上のため過去の申込みデータをもとに申込み時間の分析をしています．今回はその一部をご紹介します.

表　第一種研究会の申込み時間の分析例(2011/7～2012/6分のデータより)

	1日(24時間)前	2日(48時間)前	3日(72時間)前
申込数累積	53.5 %	32.6 %	25.6 %
標準偏差	15.0 %	9.1 %	6.6 %

平均的に締切3日前の約4倍，2日前の約3倍，1日前の約2倍に着地することがわかります．これを見

ると，AP研ご発表の皆さんは，「ぎりぎり派」が多いことが分かりますね．このデータは過去2年間でほとんど変動がないため，締切前の票読みに活躍しております．したがって，くれぐれもこのデータを見たことによって，申込み行動を変えないでくださいね！ 「ぎりぎり派，万歳！！」（AP研幹事山口）

【3】AP研幹事・幹事補佐退任の挨拶

・ 幹事　山口　良（ソフトバンクモバイル）

AP研は最もアクティブな研専のひとつです．数的には，ここ数年，年間で大会500件(信学会1位)，第一種研200件(通ソ4～5位)の発表があります．一部を除き個別依頼なしでの実績であり，皆様のパワーを肌で感じました．質的には，伝統的に新規事業提案のDNAがあります．そのDNAを引継ぎ，執行部・各種委員会のご協力のもと新たな試みにも挑戦しました．伝搬セッション(1・7月)，論文誌再編集号，AP研表彰式，チュートリアル講演，新第二種研創設などです．通常の年は，6・12月の専門委員会が幹事の2大イベントですが，今年は，日韓ワークショップ(6月予定，震災で1月に延期)も加わりました．韓国側との各種調整・下見・準備など大変でしたが，何とか開催にこぎつけ，とてもいい経験となりました．よく，「AP研幹事，大変だね．」と言われますが，皆様のご協力があっての幹事業だと，身に染みて感じております．ここに，改めて，AP研に関連する世界中の全ての皆様方のご理解，ご協力，ご尽力，ご支援に深く感謝申し上げます．とても，愉しかったです・・・．

・ 幹事補佐　有馬卓司（東京農工大学）

2年間幹事補佐を務めさせて頂きました．至らぬ所ばかりで，研究会に参加して頂いた皆様を始め，関係各位にお詫びすると同時にご協力頂いた事に対し心より感謝申し上げます．執行部において幹事補佐は，最も若手が付く役であります．そのため，昼も夜も自由に楽しく2年間務めさせて頂きました．私にとってすべての研究会が思い出深いものです．2年間で体重も増えましたが，経験，人脈，知識・・・など決してお金では買えないものを得る事が出来ました．有難うございました．

【4】副委員長の「言葉にできない」

先月のAP研究会は仙台で開催されました．私としましては震災後，初めての仙台市訪問でした．被災された方々の声を直接聞きましたが，大変だったことが重く伝わってきました．こういうときこそ，ユニタリな夜を過ごさないといけない！ と思いました．

さて，今回は「**エルミートな昼**」の解説です．エルミートと言えばエルミート行列ですので，まずはエルミート行列の話を致しましょう．あるベクトル行列 $\boldsymbol{A}$ の転置をとり（行と列を入れ替え），全体の複素共役をとった行列を $\boldsymbol{A}^H$ と表します．これは随伴行列と呼ばれます． $\boldsymbol{A}=\boldsymbol{A}^H$ を満たす行列 $\boldsymbol{A}$ をエルミート行列と言います．例えば，行列 $\boldsymbol{A}$ の(1,2)成分が $a+jb$ ならば，(2,1)成分は $a-jb$ であり，対角成分はすべて実数であるということです．エルミート行列は自己随伴行列とも呼ばれます．随伴とは，「ある物事に伴って起こること．ある物事につれて，他の物事が起こること．」という意味です．従って，自己随伴とは，「自分の中で，ある物事に伴って，他の物事が起こる」ということになります．「**エルミートな昼**」とは，「**あることを行うと，自ずとそれに伴って，別のこと（良いこと）が自己共役的に起こる，そんな素敵なお昼時**」という意味で使いました．ちょっと苦しいでしょうか．

最後になりましたが，この5月で退任される幹事の山口さん，幹事補佐の有馬先生，大変お疲れ様でした．「あなたに逢えて本当に良かった！」の一言に尽き，感謝の気持ちでいっぱいです．ありがとうございました．

〈問い合わせ先〉
アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長　　菊間信良（名工大）
E-mail ： ap_ac-chair@mail.ieice.org（AP研執行部のメールアドレス）
AP-NET ： AP研の最新情報を毎月メールにてお届けします！！　登録はAP研HPにて
AP研HP ： http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/
ISAP Archives ： http://ap-s.ei.tuat.ac.jp/isapx/